



おいしいワインにな~れ!

高浜ぶどうの収穫



▲大きく実ったぶどうに満面の笑み

9月1日、天草町高浜地区で「高浜ぶどう」の収穫が行われました。同地区振興会が「ぶどうの町」の復活と特産化を目指して、平成21年から取り組んでいるもの。

約30人で収穫した503kgのぶどうは高浜ワインとしての醸造や生食用として市内の直売所などで販売されました。

参加者は、「長雨で生育が遅れていたが、収穫できホッとした」と話していました。

日ごろの備えが肝心!

棚底地区防災訓練



▲人形を使って心肺蘇生法の訓練

防災の日の9月1日に行われた一斉避難訓練。約8,300人がサイレンを合図に避難しました。倉岳町棚底地区では、倉岳体育館で同地区振興会と中央消防署倉岳分署が合同で防災訓練を開催し、地元住民251人が参加。

人形を使った心肺蘇生法や火災時の煙体験コーナーがあり、実際に体験した男性は、「全く先が見えず、煙の怖さを実感しました」と話していました。

30年ぶりに復活!

古江大神宮観月ナイトハイク

河浦町にある古江大神宮。例大祭には鹿児島や長崎からも参拝者がいた古い神社です。

「古江の里山景観を守る会」が45年ぶりに遊歩道を整備したことがきっかけでナイトハイクを企画。地元のみならずもやる気満々です。ぜひご参加ください。

とき 10月13日(日) 午後5時~
申込方法等は市ホームページをご覧ください。
河浦支所 ☎76-1111



▲古江にぜひ来てください。カモン!!



地域おこし協力隊のりひこ 伊藤 徳彦さん

古江岳頂上は、清々しく神気を感じられるパワースポット。縁結びの由来があり、登山中に意気投合して結ばれたカップルもいたそうです。山頂で「出会い企画」もありますので楽しみに!

移住して1年7カ月。ダンスが好きで天草の自然の中で踊っています。高齢者向けの「健康ラテンダンス」も始めました。これからも地域の活力発掘やダンスを通して皆さんの健康増進などに貢献したいと思います。



市ホームページ

地域の伝統を守っていく

かめつ 大脇 金継 さん (天草町)

「チンチンカンカン・ドードイ」の掛け声が天草町高浜地区に響く。初盆を迎えた遺族が帆掛け舟を担いで港まで歩く「精霊流し」は、同地区で長年続く伝統行事だ。この精霊舟の帆に観音菩薩の絵を描いているのが畳店を営む大脇金継さん。先代の男性が病気を患ったため絵心のあった大脇さんに話が来てかれこれ10年以上描いている。

「描く前には、白い布を前に描かせていただきますと手を合わすつとです」とほほ笑む大脇さん。精霊舟は故人を弔うものだから、全て同じものにはせず、宗派によって観音様のデザインを変えたり、色を変えるなどして仕上げている。舟に張ったときに裏面からも見えるよう、濃く塗るのが大脇さんのこだわり。



「後継者がいればいつでも譲ってよかばってん。神様、仏様のことだけ、途中で止めずに元気なうちはがんばりたか」。地域の伝統を大切に継承していく、その想いが大脇さんの絵には込められています。

描いた後は、乾燥やアイロンかけの作業で完成まで丸2日間かかる。本業の畳店を営みながらの作業で体力がいる。絵のほかにも、各家庭のちようちんや舟の飾り付けなどにも携わり、お盆の直前まで準備に追われる。今年も全部で13枚。作業は5月から取りかかった。この絵を描けるのは同地区で大脇さんだけ。高齢化や人口減少で絵を引き継ぐ人がいないと心配を口にしている。



▲塗りながら色のバランスを考えていく



▲大脇さんが描いた観音菩薩。精霊流し後はお焚き上げされる



▲「チンチンカンカン・ドードイ」の掛け声で港まで舟を担いで歩く



キビキビした行動に優秀選手賞!

第6回熊本県女性消防操法大会



▲優秀選手賞に選ばれた指揮者と1番員

8月18日、八代市球磨川河川敷で県の女性消防操法大会が開催され、本市も含め女性消防隊13チームが参加しました。

軽可搬ポンプと3本のホースを使い標的を倒すまでのタイムと正確さ、美しさを競うもので、選手は仕事などの合間を縫って数カ月前から練習に励んできました。本市は団体5位と入賞は逃しましたが、初めて優秀選手賞に2人選ばれました。

一生懸命な人の周りに人が集まる

有明まちづくり講演会



▲熱心に話を聞く参加者

8月23日、有明町民センターで有明まちづくり講演会が開催され、地元住民など74人が参加しました。

景観の保全やまちづくりの分野などで活躍している熊本大学の田中准教授が「熱意を持って自ら楽しみながらやると自然に人が集まる」と講演。教授が携わったまちづくりの経験談に参加者は、自分が楽しみながらやってみることの大切さを実感していました。

五和町に響くハーモニー

アカペラライブin城河原2019



▲コンサートの最後は参加者全員で歌声を披露

8月23日から25日まで、九州内外の大学のアカペラサークルが五和町の地域交流センターおおくすで合宿を行いました。地域を活気づけようと城河原地域づくり振興会が受け入れているもので今回で6回目。

参加した71人の学生はアカペラバンド「むらさきのうえ♪」の指導を受けながら練習に励み、最終日はライブを開いて地域の人たちに歌で感謝を伝えていました。

各地の伝統踊りが集結!

夏ハイヤ



▲最後は出演者全員でハイヤ踊り

8月25日、ステージ踊りを楽しむ夏ハイヤが牛深総合センターで開催されました。

牛深ハイヤの各団体のほか阿波踊り振興協会水玉連や佐渡ヶ島謡踊団など県内外の9団体が踊りを披露。阿波踊り・佐渡おけさの代表は、「私たちが踊るハイヤ系民謡のルートである牛深の地で伝統芸能を披露できて嬉しい。この交流をきっかけに、より良い踊りを全国に広めていきたい」と話していました。

今年も大盛況!

第8回河浦大夏祭り



▲河浦のヒーロー デコボンジャー参上

8月24日、河浦中央体育館で河浦大夏祭りが開催されました。地元を活気づけようと、有志約20人で結成した河浦青年同志会が主催したもので今年で8回目。

園児による歌やダンス、ご当地ヒーロー「河浦戦隊デコボンジャー」ショーなどのステージイベントで会場は大盛り上がり。参加した親子は、「園児の出し物もあって和みました」と笑顔で話していました。

御所浦の大自然を満喫!

烏峠トレッキングモニターツアー



▲絶景を堪能しながら山頂を目指す

8月3・4日と24・25日、烏峠トレッキングモニターツアーが行われました。御所浦まちづくり協議会が、トレッキングで交流人口を増やそうとコース整備のため初めて開催したもの。コース途中にはチェーンソーアーティスト齋藤和紀氏のタツノオトシゴやイーグルなどの4作品を展示。参加者は、「見晴らしもよく、チェーンソーアートもリアルで驚きました」と話していました。

この笑顔が長寿の秘訣

栖本町敬老会



▲ひよっとこ踊りを楽しむ参加者

9月8日、栖本福祉会館で栖本町敬老会が開催され208人が参加しました。今年は金婚夫婦に加え結婚60周年を祝うダイヤモンド婚夫婦4組も表彰。

保育園児の遊戯や栖本小学校児童による栖本かっぱ太鼓、参加者と同世代メンバーのバンド演奏などが披露されました。

参加者は、「年に一度の楽しみです」と笑顔で話していました。

みんなで作ると楽しいね!

夏休み子ども料理教室



▲今日のメニューはハンバーケ

8月18日、夏休み子ども料理教室が新和町民センターであり、新和小学校の児童6人が参加しました。小宮地地区振興会が料理に興味をもってもらうと初めて企画したもので、講師は管理栄養士の森下久代さん。

玉ねぎのみじん切りでは目を潤ませながらも、包丁の使い方や調理方法を楽しく学びました。

ハンバーグを作った児童は、「おいしくできたので家でも作りたい」と話していました。